

ご近所のお医者さん

□
727
□

森下眼科院長 **森下清文さん** ー大阪市北区

眼底検査で病気を早期発見

人生100年時代を迎え、いつまでも健康で過ごしたいものですが、知らない間に病気になっていることがあります。日本眼科医会では、ACジャパンの支援キャンペーンで「バカボンのパパ」(フジオ・プロ)を用いた眼底検査や、アイフレイルによる目の病気の啓発

活動をしています。目の病気は全く自覚のないまま、ゆっくり進むことがあり、早期発見が大切です。視力検査や眼圧検査だけではなく、眼底検査が重要な役割を果たします。

人生100年時代を迎え、いつまでも健康で過ごしたいものですが、知らない間に病気になっていることがあります。日本眼科医会では、ACジャパンの支援キャンペーンで「バカボンのパパ」(フジオ・プロ)を用いた眼底検査や、アイフレイルによる目の病気の啓発活動をしています。目の病気は全く自覚のないまま、ゆっくり進むことがあり、早期発見が大切です。視力検査や眼圧検査だけではなく、眼底検査が重要な役割を果たします。

人生100年時代の健康

活動をしていきます。目の病気は全く自覚のないまま、ゆっくり進むことがあり、早期発見が大切です。視力検査や眼圧検査だけではなく、眼底検査が重要な役割を果たします。

処置などは不要です。

緑内障は、40歳以上の20人に一人、70歳以上の10人に一人が患っているとされています。網膜色素変性は遺伝性疾患で、決して珍しい病気ではありません。大阪府眼科医会の調べでは、大阪における眼科初診患者の中で糖尿病治療をしている方の38%に糖尿病網膜症が認められました。黄斑変性は近年、眼底の中心部にある視力に関わりの深い黄斑部が加齢によって障害されて障害される「加齢黄斑変性」が増加しています。高齢になるほど罹患率は増加していきます。眼底検査によってこのような病気をいち早く見つけ、病気の進行予防や、治療を開始できます。

一生まれつきではなく、病気や事故などにより視機能が著しく低下し、日常生活に支障をきたす、中途失明というものがあります。中途失明の原因疾患として、緑内障(28・6%)、網膜色素変性(14・0%)、糖尿病網膜症(12・8%)、黄斑変性(8・0%)などが挙げられます。初期の視力は良好で無症状なため、眼底検査をしないとこれらの病気を発見することはできません。

一生まれつきではなく、病気や事故などにより視機能が著しく低下し、日常生活に支障をきたす、中途失明というものがあります。中途失明の原因疾患として、緑内障(28・6%)、網膜色素変性(14・0%)、糖尿病網膜症(12・8%)、黄斑変性(8・0%)などが挙げられます。初期の視力は良好で無症状なため、眼底検査をしないとこれらの病気を発見することはできません。

一生まれつきではなく、病気や事故などにより視機能が著しく低下し、日常生活に支障をきたす、中途失明というものがあります。中途失明の原因疾患として、緑内障(28・6%)、網膜色素変性(14・0%)、糖尿病網膜症(12・8%)、黄斑変性(8・0%)などが挙げられます。初期の視力は良好で無症状なため、眼底検査をしないとこれらの病気を発見することはできません。



一生まれつきではなく、病気や事故などにより視機能が著しく低下し、日常生活に支障をきたす、中途失明というものがあります。中途失明の原因疾患として、緑内障(28・6%)、網膜色素変性(14・0%)、糖尿病網膜症(12・8%)、黄斑変性(8・0%)などが挙げられます。初期の視力は良好で無症状なため、眼底検査をしないとこれらの病気を発見することはできません。